



2月の予定

住民協働事業  
活動報告パネル展  
2月24日(月)～28日(金)  
大網白里市役所1 皆ロビー

25年度実施の協働事業が終了になります。そこで、これまでの活動を発表します。

第46号

平成26年1月24日

平成26年の年頭に当たって

所長 黒川 有昌



大網白里まちづくりサポートセンターが発足して5年、多くの課題が山積していますが何とか乗り切り、2014年の新年を迎えることが出来ました。多くの方々の支援と指導のお陰と深く感謝しております。そこで、本年も継続して次の三点に重点を置いて活動したいと考えています。

- (1) 市民活動団体の育成を図ると共に横の連携を深めて協働事業の推進を図られる様に努力します。
- (2) 行政との連携を密にして「まちサポ」の運営と活動の改善を図られるように努力します。
- (3) 本年も「笑顔で挨拶地域の絆、豊かな自然を次世代へ」をテーマにして各種事業を展開します。

25年を振り返ると、なんとか運営できたのは、無報酬でご協力下さった当番さんの方々の支援があったからです。心から感謝しています。本年も続いてお願いします。

これからも、まちサポの活動を一步一步進めて参ります。行政、団体、市民と多くの方々のご理解をいただきご支援後とご協力をお願い申し上げます。皆様のご多幸をお祈りします。



平成26年新年を迎えての抱負  
理事 後藤 正義

“まちサポ”民設民営で設立し6年目を迎えます。さまざまな課題を抱えながらも、毎週の打ち合わせ・月一度のの理事会をとおり中間支援組織としての役割を果たしてきたと思っておりますが、本年は今後の活動・運営面を含め正念場の年になるような気がします。

より多くの方のご理解・ご協力そしてご支援をいただき、市民が願う「行政と住民の協働のまちづくり」実現に向け行動します。

みなさん“まちサポの仲間になりませんか”住み続けたいまちをつくりましょう！



協働のまちづくりサロン開設について  
理事 三澤 清隆

今年も協働型地域社会の実現をめざし「住んで良かった、住み続けたいまちづくり」パフォーマンスを展開します。協働型地域社会とは、活動する市民ネットワークが活発に共振して、地域社会の活性化につながり豊かなソーシャル・キャピタルを構成する社会のことです。協働サロンの開設は、多様なまちづくり人材の集う「多機能交流拠点」として不可欠な存在です。開設に向け、活動する市民・NPO・企業関係者と図り、行政・関係部局みなさんのご理解を得たいとするものです。課題解決に全力疾走しますので応援宜しくお願い致します。



### 新年の抱負

理事 田邊 宏雄

新年、まずは穏やかな日々を迎えております。今年は環境やエコライフをアピールすべくドンキホーテさながらに右往左往することになりそうです。

去年は国内外各地できびしい気象災害がほうじられました。台風30号はスーパー台風とも呼ばれフィリピンに過酷な被害をもたらした事は記憶に新しいことです。IPPCもこのような気候変動（日本では「温暖化」といわれています）が化石燃料の消費を中心とした人の活動によりもたらせていると結論づけております。

きびしい気候変動をおさめるために低炭素社会（化石燃料への依存を少なくする社会）へのシフトが提唱されています。生活面でのライフスタイルを変えてゆく必要があります。様々な対応方法がありますがエネルギーだけでなく過剰生産・消費・廃棄を減らすことをあげることができます。

この対応は近頃わだいに「脱成長」とも軌を一にしているように思えます。

成長から成熟へ、裕福でなくても豊かな暮らしができるよう、できることから知恵と工夫を生かしてゆく年にしてゆきたいと思っています。



あるがままに・・・

なすがままに。

理事 八角 榮子

善き新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

まちサポもいよいよ6年目に。こちらに来る方は皆さん自主的にサポートするところを見つけられ帰られますね。そして明るい！いつも来られる方がおっしゃっていました。新しい市民活動も生まれました。立ちあげに参画した1人として素直にうれしい思いであります。地域で活躍される方々がいきいきしているお姿を拝見する度にサポートセンターの存在は確かなものであるとお伝えしたいです。更に飛躍の年に。わが愛する大網白里市とシンプルに住み良い市を目指して、真の協働で進めて行けますことに、私の出来るところで皆様により添いながら、私の課題にしている今日の真心を大切に、本年も品格ある馬を目指して走らせていただきます。



理事 林 正清子

### 新年の抱負

2020年のオリンピックの年に三代目に世代交代する事を決めました。東京オリンピックを夢みて日々努力を重ねるスポーツ選手と同じく、私も地域になくしてはならない企業を目指して行くつもりです。



理事 野老 真理子

## 会員団体からのお知らせコーナー

### 戦争体験語り部の集い

開催のお誘い

平成26年3月10日(月)

17:00~18:30

大里綜合管理株式会社

2階会議室

東京大空襲のあったこの日を忘れないために、戦争体験者の貴重なお話を聴きにきて下さい。

オープンガーデン大網白里「花フレンド」では、仲間を募集しています。

★丹精込めて育てた花が咲いたら、どなたかに観てもらいたいと思いませんか？お庭を公開して下さる仲間を探しています。あなたのご自慢のお庭を公開しませんか。

★お花の好きな方で、スタッフとしてボランティアをして下さる方を募集しています。お庭の公開時にお手伝い下さい。

◎どちらとも、詳細はまちサポにお尋ね下さい。

お世話になっていきます。

毛糸・手芸・生地・化粧品  
ぷち・はんず  
大網白里市大網32-5  
0475-72-0394

安藤正義税理士事務所  
大網白里市仏島91  
0475-72-6188

トップマート大網店  
大網白里市大網84-4  
0475-70-2058



# 会員団体活動紹介

## シェイクハンズ

障がいのある子どもが地域の方々と関わりながら育つために、ペットボトルのキャップのリサイクル活動を 2008 年から行っています。各学校で集めたキャップを障がいのある子ども達が受け取りに行くことで健常児と交流しています。この交流こそが、シェイクハンズの活動の一番の目的です。(キャップの回収業者のように思われている方もいるのですが) 集めたキャップは、キャンペーンのシールや飲料以外のキャップを取り除く作業を経て、リサイクル業者に引き渡します。この作業も地域の方との交流として、楽しく行っています。

シェイクハンズが仕分けしたキャップの行方ですが、キャップを細かく粉碎し製品化されます。この製品がお金に換金され、「NPO 法人世界の子どものワクチン 日本委員会」を通してワクチンを買って発展途上国に贈ります。これまでにシェイクハンズが贈ったキャップの合計は 26.48t、金額にして 264,800 円、およそ 13,000 人分のワクチンになりました。ちなみに、今はシリアの子ども達に贈っているそうです。今年、シェイクハンズの活動に対して日本委員会の代表細川佳代子さんより感謝状が届きました。

### あなたもこの活動に参加しませんか？

#### エコキャップの仕分け作業

毎月第 4 月曜日 10 時～12 時

大網白里まちづくりサポートセンターにて「わいわい、がやがや」楽しくおしゃべりをしながらの作業です。都合の付くときにお越し下さい。

#### エコキャップの整理・移動・引き渡し作業

仕分け作業の前後の片付けや移動時の手伝い、キャップの引き取り前の袋詰め作業などの力仕事になります。必要な時にお声がけしますので、まちサポにご登録をお願いします。

登録先；TEL 0475-72-8278

## ゆ～るアクティブ

お年寄りの居場所、障がい者の居場所、子どもの居場所、それぞれ単独で居場所作りを考えていた方々が集まり、目指すところは一緒と、この会を立ち上げました。

地域で生活をしているときはみんな一緒に生活なのに、別々に居場所を作る必要なんてあるのかしら。お年寄りから学ぶ昔の方の知恵、若い人のパワーをもらって元気になる高齢者、障がいのある方の住みやすい社会を考えるとみんなが暮らしやすくなるのです。そんなことを考えていたら「なーんだ、みんな一緒がいいんだね。」という事に。どんな方もみんなでごく普通のサロン、ホッと出来る場所、定年も無くどんな方でも、みんなのために動ける居場所。それを理想に活動して 3 年目になります。

今は、まちサポを借りて、月 1 回のサロンと毎週水曜日に就労準備サロンを開いています。

月 1 回のサロンは、「ゆ～るサロン」と題して第 1 日曜日に、赤ちゃんからお年寄りまで障がい者も含めて、お昼ご飯を作って食べています。もちろん、歌を唄ったり、折り紙をしたり、時には温泉に出かけたりもしています。基本的な活動時の参加費は 200 円、ちょっと変わったことをするときにはそれなりの実費がかかりますが、参加されている方は皆楽しんでもらっているようです。

毎週水曜に行っている就労準備サロンは、社会復帰の前に、まちサポでボランティアをしながら社会とコミュニケーションをとりたい方を中心に行っています。人数に限りがありますし、どなたでも気軽にというわけにはいきませんが、来られる方の適正にあったボランティアをしていただいています。

どのサロンも、今はまだ限られた日にちでしか開けられないけれど、毎日開けられるようにいずれはしたいとみんな話合っています。

### あなたもこの活動に参加しませんか？

毎月第 2・4 水曜日 13 時半～ 定例会

会議参加費 100 円

毎月第 1 日曜日 10 時～14 時 ゆ～るサロン

サロン参加費 200 円 (基本)

毎週水曜日 10 時～15 時 就労準備サロン

参加費無料 (昼食ご持参ください)

## 新規加盟団体紹介

### 小中川桜の会

大網駅から真亀川までの7.5kmに桜の植樹をして市の活性化を図り、市民の憩いの場をつくる会です。7.5kmの桜並木が完成すると、千葉県一の長さになります。この計画に賛同して下さる会員を募集中。興味のある方は、ご連絡下さい。

桜が咲いたその後は  
川沿いには 散歩を、サイクリングをしている姿  
春には 満開の桜の下、さくら祭り  
秋には  
全国サイクリングロードレースが開催されている  
そんな大網白里市に成る夢を見た



発起人 渡辺 政紀 仏島在住

TEL 72-1067

## 大網病院と住民との交流会

テーマ 「当地域の救急の現状と今後の展望」

1月24日 3回目になる交流会を行いました。住民として参加したのは、民生委員や議員を含めて大網病院を良くしたいと考えている11名。病院側は院長・副院長を始め看護師さんや技師などの職員の9名でした。まず、テーマに沿って志村院長からパワーポイントを使って、現状を説明していただきました。志村院長のお話より。「山武長生夷隅医療圏は千葉県の中で一番の広範囲に及んでいる。その中で大網白里市はほぼ中央に位置し、千葉医療圏に隣接している。公立、私立ともに比較的中小病院が多く、400床以上の大病院はありません。当医療圏には救命救急センターの配置はなく、県立東金病院、長生病院が一応基幹病院との位置付けで医療計画にはこれまではずっと記載されていた。山武地域での二次・三次の依頼先は主に旭中央・成田日赤・県救急医療センター・県循環器センターにお願いする事が多くなっている。ドクターヘリは2カ所から運行されており、大網はいずれも15分圏内にあり、平成24年度は日本医大北総病院105件、君津中央病院18件であった。搬送時間自体は短いがその前段階の適切かつ迅速な判断・連携が重要である。」東千葉メディカルセンターとの連携は。「メディカルセンターの10km圏内には、東金、九十九里町以外に、大網白里市、茂原市、山武市、八街市、若葉区、緑区がほぼ同心円上に並びその人口は50万以上となる。医療はフリーアクセスであることにより、センターの予定病床数ではとても足りない。二次救急は当地域では輪番性によって担わざるを得ない。(大網病院は二次救急病院)三次救急はなく他医療圏に依存。ここでの問題点は輪番病院の継続入院機能の低下、救命救急後の術後継続入院機能を有する病院病床数が非常に不足していること。最近、九十九里病院が頑張っているが、東金病院の担当分をどうするか課題」など興味深い内容でした。

(次号に続く)



### あみくん、さぼちゃんの 大網白里★あれこれ

浜の七福神を知ってますか？今年のお正月初めてお参りしました。七福神めぐりは、室町時代の末期に始まり、当時民間信仰の最も完全な形となって育てられ、農民・漁民の間で信仰され現代に伝承されてきたそうです。七福神のうち大黒天・毘沙門天・弁財天・布袋尊は仏教、寿老人・福祿寿は中国の道教、神仙観・恵比寿神は日本神道の出身だそうです。私の浜の七福神巡りは、大黒天の五所神社(旧蓮沼村)から始めました。七福神巡りの御朱印帳を購入し、布袋尊の四社神社(横芝町)恵比寿様は八坂神社(九十九里町)、そして我が大網白里市は要行寺の寿老人。白子町真光寺の毘沙門天、長生村は清泰寺の辯財天、最後は一宮の福祿寿、観明寺で終了。お正月の七福神巡りは1月15日までに行うのが習わしだそうです。



大網白里まちづくりサポートセンター

大網白里市大網 32-3

TEL/FAX ; 0475-72-8278

<http://machisapo.net>

E-mal:info@machisapo.net